



次の文章は、月刊誌「柔道」令和4年8月号に掲載される、鹿児島県開催の「講道館講習会」報告として、鹿倉貢理事が寄稿した文章です。

#### 「講道館講習会」

公益財団法人鹿児島県柔道会では、鹿児島県総合体育センターとの共催で毎年「柔道指導者講習会」を開催しています。ここ2年は新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から開催を中止しておりましたが、今年度は去る5月23日(月)・24日(火)の二日間の日程で3年ぶりに開催しました。

各競技団体が実施する指導者講習会の中でも、県の教育機関との共催で継続して開催しているのは柔道競技だけであり、昭和51年に開催してから今年度で47年目(45回目)を迎える伝統と格式のある講習会であります。

参加者は、学校の部活動や授業に関わる教員をはじめ、スポーツ少年団の指導者、警察、刑務所、自衛隊、柔道整備師等柔道に関わる方々が対象となり、毎年200人余りの参加があります。関係者にとりましてはある意味毎年開催される柔道愛好家の同窓会のような様相も呈しており、以前は1日目の夜に盛大な懇親会も開かれていましたが、コロナ禍の今は自粛せざるを得ません。

さて、講習会にはこれまでも上村春樹講道館長や山下泰裕全柔連会長をはじめ著名な方々を招聘して講義や実技指導をお願いしていましたが、今年度は講道館参与の鮫島元成先生に講師として来ていただきました。先生には一昨年から講師をお願いしておりましたが中止のため3年目の実現となりました。

→開講式では今年4月に九段に昇段された北哲郎会長から「3年ぶりの開催を慶ぶとともに実りある会となることを祈念する。」旨の挨拶があり、その後講義「柔道理論」、午後からは実技「投の形」・「活法」、講義「安全指導」・「公認指導者資格関係」があり、2日目は午前中に講義「国際柔道連盟試合審判規定」(主に改正点)・「少年大会特別規定」、更に講義「登録関係」・「コンプライアンス関係」・「昇段関係」、午後は実技「投の形」・「活法」の後、令和4年度国民体育大会強化委員任命式を行い閉講となりました。

鮫島参与による講義では、柔道の歴史や修行の目的、目的達成の手段、目的達成のための具体的な知識、礼法、基本動作、技の理合等々多くの史料等を基にまとめられた配布資料により説明があり、受講者全員がその内容に聞き入っていました。

同じく実技「投の形」では、それぞれの動

作の理屈も交えて説明があり、これまで何気なく行っていた動作一つひとつの意味を理解することができました。また、試合中に絞め技で競技者が意識消失(「落ち」)した場合に、その場の体勢(伏臥・仰臥)に応じた活法の仕方など、有意義な二日間にわたる実技講習となりました。

その他の講義は本会の理事が担当し、それぞれが資料に基づいての説明や、パワーポイントを交えての説明を行い、3年ぶりということもあり受講者も熱心に受講していました。

閉講式では北会長より「今回の受講の成果を本人だけの知識にとどめることなく、今後の指導に生かして欲しい。そして今後の本県柔道の更なる普及・発展と次年度開催の国体への強化にも繋がっていくことを祈念する。」という旨の挨拶があり閉講となりました。

今年も20代から80代まで幅広い173人の参加者を得ての開催でしたが、主催者としてはコロナ禍を踏まえ、体調管理や検温、消毒、換気、密にならないよう必要最小限の接触と会話等感染防止対策に細心の注意を払い、成功裏に終了することができました。

昨今の柔道人口を見ると登録者数が減少していますが、本県も他県に変わらず減少しており、登録者数を増やすことが喫緊の課題であります。この10年間の本県の児童生徒数(小・中・高・特別支援)をみると約1万5千人減少しており、この傾向はさらに続いていく状況の中、柔道人口を増やすためには、スポーツ少年団や町道場への加入者増が必須です。また、文部科学省では「学校の働き方改革」や「部活動ガイドライン」を踏まえ、今後令和5年度までに学校部活動から「地域部活動」への移行を目指すとしており、スポーツ少年団から中学校に入学した生徒の受け皿となる地域での指導者の養成が重要となります。

本講習会は、地域に根差した柔道指導者を養成するために大きな役割を果たしています。今後ますます本講習会が充実し、柔道人口が増え、ひいては競技力の向上や柔道愛好者の健康維持に繋がっていくことを願ってやみません。





**☆ 県下柔道少年指導者研修会  
および錬成会の案内**

本年度から全国小学生学年別柔道大会が廃止されることになり、代表者を選考する必要はなくなりましたが、本県では少年柔道のあり方を再考するよい機会ととらえ、県大会を予定していた日を活用し、選手・指導者・審判等少年柔道に関するイベントを開催します。なお、会場の入場制限があるため、入場調整をすることがあります。

**《 郷土選手の活躍 》**

本県出身の選手が、全国大会や国際大会で活躍し、上位入賞しました。選手の皆さん、おめでとうございます。

**・全日本選抜柔道体重別選手権大会**

4月2日～3日 福岡国際センター

**【男子】**

- ☆60kg級 福田 大悟 (日本エースサポート) 1回戦敗退
- ☆66kg級 内村 光暉 (自衛隊体育学校) 3位
- ☆73kg級 内村 秀資 (東海大学) 1回戦敗退

**【女子】**

- ☆63kg級 幸田 奈々 (自衛隊体育学校) 1回戦敗退
- ☆78kg級 濱田 尚里 (自衛隊体育学校) 1位
- 高山 莉加 (三井住友海上) 2位
- ☆78kg級超級 稲森 奈見 (日本エースサポート) 3位

**《各種大会の成績(2月～6月)》**

※ コロナ感染拡大防止のため、以下の大会は中止としました。

- ・県柔道選手権大会、県女子柔道選手権大会  
1月22日(土)
- ・県下中学校新人柔道大会(北哲郎旗争奪戦)  
1月23日(日)

**全国高等学校柔道選手権大会  
鹿児島県予選会**

2月27日(日) 西原商会アリーナ武道場

**【男子団体】**

- 1位 鹿児島情報高校
- 2位 明桜館高校
- 3位 鹿児島実業高校
- 3位 鹿児島工業高校

**【女子団体】**

- 1位 鹿児島南高校
- 2位 国分中央高校

**【男子個人】**

- 60kg級 加藤 匠 (明桜館高校)
- 66kg級 宮崎心之介 (鹿児島情報高校)
- 73kg級 兒玉鼓太郎 (鹿児島情報高校)
- 81kg級 落合 冠太 (鹿児島情報高校)
- 無差別 吉川 巧真 (明桜館高校)

**【女子個人】**

- 48kg級 鬼塚奈瑠美 (鹿児島南高校)
- 52kg級 宮里 望美 (鹿児島南高校)
- 57kg級 中田 舞 (鹿児島南高校)
- 63kg級 鳥越小有希 (鹿児島南高校)
- 無差別 瀧川 七花 (鹿児島南高校)

※1月23日、24日の実施予定の第62回鹿児島県高等学校柔道選手権大会は、2月14日、15日に延期したが、新型コロナウイルス感染症の状況により中止とし、規模を縮小して2月27日(日)に全国高等学校柔道選手権大会選考会として、男子団体は、県新人大会上位4校、女子団体は同大会上位2校、また男女個人は無差別の試合を、西原商会アリーナ武道場で無観客で実施した。なお、男女団体と無差別級1位以外の、男子個人60kg級、66kg級、73kg級、81kg級及び女子個人48kg級、52kg級、57kg級、63kg級は、県高校新人大会優勝者を代表とした。

**全国高等学校柔道選手権大会**

3月20日(日)～21日(月・祝)  
日本武道館

**【男子個人】**

- ☆60kg級 加藤 匠 (明桜館高校) 3位

**【女子個人】**

- ☆52kg級 宮里 望美 (鹿児島南高校) 3位
- ☆63kg級 鳥越小有希 (鹿児島南高校) 3位

**県下少年新人柔道大会**

3月13日(日) 国分武道館

- 1位 柔心館道場
- 2位 南種子柔道スポーツ少年団
- 3位 山川武道館柔道スポーツ少年団

※1月22日(土)に西原商会アリーナで実施予定だった第39回県下少年新人柔道大会は、新型コロナウイルス感染症の状況により3月13日(日)に延期し、国分武道館にて実施した。

**県高等学校柔道競技大会**

6月1日(水)～2日(木)  
西原商会 **メイン**アリーナ

**【団体】**

- 1位 明桜館高校 5年ぶり6回目
- 2位 鹿児島情報高校
- 3位 鹿児島実業高校
- 4位 鹿児島工業高校

**【個人】**

- ◇60kg級
  - 1位 加藤 匠 (明桜館高校)
  - 2位 庵地日風太 (鹿児島工業高校)
- ◇66kg級
  - 1位 石原 太洋 (鹿児島水産高校)
  - 2位 満永 朝郎 (鹿児島工業高校)
- ◇73kg級
  - 1位 兒玉鼓太郎 (鹿児島情報高校)
  - 2位 岩元 拓海 (明桜館高校)
- ◇81kg級
  - 1位 落合 冠太 (鹿児島情報高校)
  - 2位 中藪 勇輝 (鹿児島情報高校)
- ◇90kg級
  - 1位 田下 誠 (鹿児島実業高校)
  - 2位 天達 朝日 (明桜館高校)
- ◇100kg級
  - 1位 長友 洗樹 (鹿児島情報高校)
  - 2位 大野 佑真 (鹿児島情報高校)
- ◇100kg超級
  - 1位 吉川 巧真 (明桜館高校)
  - 2位 杉田悠乃介 (鹿児島情報高校)

※団体・個人各1位は、8/6(土)～10(水)の全国総体(愛媛県松山市)の出場権を獲得、また1・2位は、6/18(土)・19(日)の九州総体(熊本県山鹿市)の出場権を獲得。

**県高等学校女子柔道競技大会**

6月1日(水)～2日(木)  
西原商会 **メイン**アリーナ

**【団体】**

- 1位 鹿児島南高校 4大会連続21回目
- 2位 国分中央高校
- 3位 鹿児島情報高校
- 4位 鳳凰高校

**【個人】**

- ◇48kg級
  - 1位 鬼塚奈瑠美 (鹿児島南高校)
  - 2位 山下愛香里 (鹿児島南高校)

- ◇52kg級
  - 1位 宮里 望美 (鹿児島南高校)
  - 2位 三井 咲花 (国分中央高校)

- ◇57kg級
  - 1位 中田 舞 (鹿児島南高校)
  - 2位 東郷 紅葉 (国分中央高校)

- ◇63kg級
  - 1位 鳥越小有希 (鹿児島南高校)
  - 2位 平 愛菜美 (国分中央高校)

- ◇70kg級
  - 1位 瀧川 七花 (鹿児島南高校)
  - 2位 岩佐 思花 (国分中央高校)

- ◇78kg級
  - 1位 福山 琴子 (国分中央高校)
  - 2位 木村 碧衣 (鹿児島南高校)

- ◇78kg超級
  - 1位 屋 美来 (鹿児島南高校)
  - 2位 川地 智 (鹿児島情報高校)

※団体・個人各1位は、8/6(土)～10(水)の全国総体(愛媛県松山市)の出場権を獲得、また1・2位は、6/18(土)・19(日)の九州総体(熊本県山鹿市)の出場権を獲得。

**県下中学校柔道大会**

6月4日(土) 西原商会アリーナ武道場

**【男子団体】**

- 1位 鹿屋東中学校
- 2位 中種子中学校
- 3位 舞鶴中学校
- 3位 川内中央中学校

**【男子個人(無差別)】**

- 1位 外園 海晴 (鹿屋東中学校)
- 2位 塗木 達人 (財部中学校)
- 3位 濱之上晴純 (三笠中学校)
- 3位 徳永 丈 (中種子中学校)

**【女子団体】**

- 1位 財部中学校
- 2位 金久中学校
- 3位 舞鶴中学校
- 3位 重富中学校

**【女子個人(無差別)】**

- 1位 山元 夏姫 (加治木中学校)
- 2位 山崎 柚 (舞鶴中学校)
- 3位 石原 南音 (里中学校)
- 3位 鮫島 実柚 (財部中学校)

**県ジュニア柔道体重別選手権大会**

6月5日(日) 西原商会アリーナ武道場

**【男子】**

- ◇60kg級
  - 1位 前田 竜輔 (鹿屋体育大学)
  - 2位 金井 拓真 (鹿屋体育大学)
- ◇66kg級
  - 1位 山口 愛斗 (鹿屋体育大学)
  - 2位 柴田 渚 (鹿屋体育大学)
- ◇73kg級
  - 1位 田上 知歩 (鹿屋体育大学)
  - 2位 浮津 琉矢 (鹿屋体育大学)
- ◇81kg級
  - 1位 渡野 大地 (鹿屋体育大学)
  - 2位 中村 絢 (鹿屋体育大学)
- ◇90kg級
  - 1位 中川 晃希 (鹿屋体育大学)
  - 2位 大辻 雄史 (鹿児島情報)
- ◇100kg級
  - 1位 山口 航暉 (鹿屋体育大学)
  - 2位 西丸 知良 (鹿児島大学)
- ◇100kg超級
  - 1位 小川 琢摩 (鹿屋体育大学)
  - 2位 吉川 巧真 (明桜館)

**【女子】**

- ◇48kg
  - 1位 原田菜々子 (鹿屋体育大学)
  - 2位 城戸 鼓夢 (鹿屋体育大学)
- ◇52kg
  - 1位 三井 咲花 (国分中央高校)
  - 2位 須田 菜月 (鹿屋体育大学)
- ◇57kg級
  - 1位 東郷 紅葉 (国分中央高校)
  - 2位 中田 舞 (鹿児島南高校)
- ◇63kg級
  - 1位 鳥越小有希 (鹿児島南高校)
  - 2位 中武 叶愛 (鹿屋体育大学)

- ◇70kg級
  - 1位 瀧川 七花 (鹿児島南高校)
  - 2位 岩佐 思花 (国分中央高校)
- ◇78kg級
  - 1位 木村 碧衣 (鹿児島南高校)
  - 2位 福山 琴子 (国分中央高校)
- ◇78kg超級
  - 1位 日高 葵 (種子島中央高校)
  - 2位 松元 愛奈 (鹿児島南高校)

※各階級上位男子2名、女子2名は、7月3日(日)の九州大会県代表として出場資格を得る。

**主な行事予定 (6月～9月)**

- 6月25日(土) 県下柔道少年指導者研修会  
および錬成会  
西原商会アリーナ
- 7月26日(火) 県中学校総体柔道競技  
～27日(水) サンアリーナ川内
- 8月22日(月) 本部夏期講習会 柔道会館  
～27日(土)
- 8月28日(日) 夏季昇段試験 柔道会館
- 9月4日(土) 推薦昇段(五段以下)審議会  
柔道会館
- 9月18日(日) 第75回県民体育大会柔道  
競技 鹿屋市武道館

**【編集後記】**

柔道会便り51号より、県柔道会ホームページ上での配信になります。引き続きご愛読をよろしくお願いいたします。

(文責：田島)



**燃ゆる感動 かがしま国体**

特別国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2023